

ひろしま奨学金支給事業

私費による留学生で、広島市内に居住し、広島市内の大学又は大学院に在籍する方が、経済的な問題に影響されることなく学業に専念できるよう支援するため、「ひろしま奨学金」制度を創設し、支援しています。この奨学金の財源については、市民から広く善意の寄附を募り、「ひろしま留学生基金」として積立て、その利息等を充てることとしています。

(1) 事業開始年月日

昭和 63 年（1988 年）4 月 1 日

〔ひろしま留学生基金の積立ては、昭和 63 年（1988 年）6 月 1 日より開始〕

(2) 支給額

月額 3 万円（平成 4 年度（1992 年度）より、月額 2 万円から 3 万円に増額）

(3) 支給人数

30 人

(4) 受給者内訳（令和 4 年度）

（単位：人）

大学名	国・地域				計
	中国	ベトナム	韓国	シンガポール	
広島国際学院大学	2	2	-	-	4
国立広島大学	5	-	-	-	5
広島市立大学	1	1	-	-	2
県立広島大学	3	-	1	-	4
広島経済大学	3	1	1	-	5
広島修道大学	4				4
広島女学院大学	2	-	-	-	2
比治山大学	-	2	-	-	2
広島工業大学	1	-	-	-	1
叡啓大学	-	-	-	1	1
計	21	6	2	1	30

※昭和 63 年度～令和 4 年度までの支給者合計数 1,073 人

1 ひろしま奨学金奨学生決定書交付式の開催

例年 6 月下旬に、ひろしま奨学金奨学生決定書交付式及び奨学生との交流会を開催していますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、6 月 24 日（金）交付式のみ実施しました。



ひろしま奨学金奨学生決定書交付式

2 奨学生を対象とした平和学習講座の開催

令和 4 年 1 月 8 日（土）、奨学生を対象とした平和学習講座を開催しました。

当講座は、被爆の実相及び広島市や本財団が行う核兵器廃絶に向けた取り組みなどを学び、受給期間終了後もヒロシマを発信する活動を継続的かつ積極的に行ってもらうことを目的として、平成 31 年度（2019 年度）から実施しています。

当日は、原爆被爆の概要説明の受講、平和記念資料館見学の後、被爆体験証言者から被爆体験を聞き、参加した奨学生たちは皆真剣に聞き入っていました。最後に学習の振り返りとして、ヒロシマを発信するために何ができるか奨学生同士で意見交換し、発表しました。また、本財団が提供している、原爆展や平和学習用資料の貸出、ウェブによる被爆体験証言などのヒロシマを発信するためのツールを紹介しました。

3 令和 4 年度寄附受領額（ひろしま留学生基金に積立）

1,505,100 円 （4 団体、1 個人）